

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	バリアフリー促進事業		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'02	②〈まちの顔〉 活気ある魅力的な中心市街地をつくる	
	'02	2 人々が憩えるゆとりとうるおいのある都市空間を創造する	
根拠法令等	バリアフリー新法		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 施設設置管理者等の各事業者】		
	目的・目標		事業の概要
誰もが移動の安全性と快適性を享受し、ユニバーサルデザインの施設を利用でき、みんなで支えあう社会が形成されています。		誰もが移動の安全と快適性を享受し、ユニバーサルデザインの施設を利用でき、みんなで支えあう社会を形成するために、バリアフリー基本構想に基づき整備を行う各事業者と共にバリアフリーの推進を図ります。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	推進協議会開催回数(平成26年度から)			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		1	2		
	実績	2	2			
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	特定事業達成度(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成32年度を100%とした達成率(各事業者が計画する特定事業の達成率を評価)				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標		14	28		
	実績	14	20			
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
平塚市バリアフリー推進協議会を開催して、各事業者の事業進捗状況などの情報共有を図ることや、利用者側との意見交換を実施することで、バリアフリー基本構想に基づく事業の円滑な推進に寄与しました。						
平成27年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	駅構内や駅を中心とした周辺道路等に対してバリアフリーを望む声は多く、各事業者が連携し重点的かつ一体的に推進するよう調整をする必要があります。	● 高 ○ 低
	有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	各事業者と調整したうえで整備を進める事で、バリアフリー基本構想の具現化につながる有効な事業です。また、市民の視線に立った移動等円滑化施策のため有効性があります。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	各事業者の事業内容や進捗状況等を確認するとともに、必要に応じて「まちの点検」を行い事業計画を見直すことで、確実な事業の進捗と段階的かつ継続的なバリアフリー化が発展していくため妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	バリアフリー推進協議会において進捗管理することで、各事業者が連携し重点的かつ一体的に事業を推進していくことにより、効率性を高めていきます。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 平塚市バリアフリー推進協議会にて、各事業者の事業計画を情報共有して、重点的かつ一体的な推進が図られるように、協議・調整を進める必要があります。また、関係団体や市民委員など、利用者側の意見が反映できるような工夫が必要となります。			

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		推進協議会の開催、平塚市交通バリアフリー基本構想の見直し	推進協議会の開催、事業計画の確定	推進協議会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	67	0	0
事業費 (A)		67	0	0
執行率 (%)		79.76	—	—

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 平塚市バリアフリー基本構想に基づく各事業の円滑な推進のため、平塚市バリアフリー推進協議会を開催し、段階的かつ継続的にバリアフリー化していくよう進捗管理をし、また事業の進捗状況等を市民に公表していきます。また、平成28年度に事業期間(短期)が終了するため、点検及び見直しを行います。
課長コメント 平塚市バリアフリー基本構想に基づき策定した事業計画の円滑な推進を図っていくため、各事業者との連携を強化するとともに、まちの点検や事業計画の見直しを進める必要があると考えます。